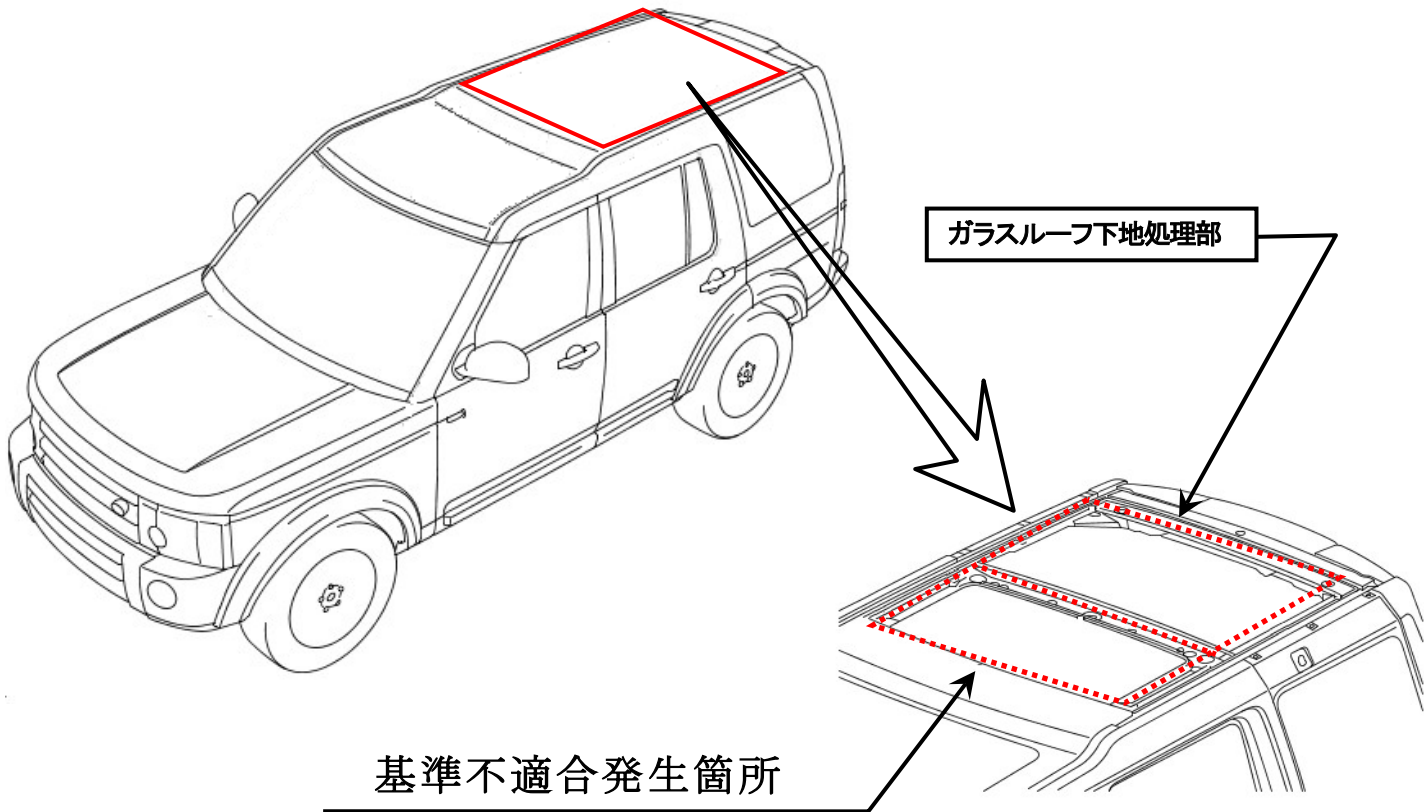


改善箇所説明図



ガラスルーフ装着車において、ガラスルーフ取付時の作業指示が不適切なため、当該ルーフの接着力が不足し、走行振動等により当該ルーフの接着面が剥離することがある。そのため、走行中等に異音が発生し、そのままの状態で使用を続けると、走行時の風圧により剥離が進行し、最悪の場合、走行中にガラスルーフが脱落するおそれがある。

改善の内容

全車両、正しい下地処理を施してガラスルーフを車体に再接着する。

識別：左リヤドアストライカー取付けボルト頭に白ペイントを塗布する。

注： は対策実施部品を示す。